

えべつ未来づくりビジョン(第7次江別市総合計画)の素案に係る 意見公募(パブリックコメント)の実施結果と市の考え方について

○ 意見公募の結果

募集期間	令和5年8月1日から令和5年8月31日まで
提出件数	13人
意見数	57件

○ 意見に対する市の考え方

取扱区分	内容	件数
A	意見を受け入れて案を修正するもの	7
B	今後の進め方等において参考とするもの	22
C	案と意見の趣旨が同様と考えられるもの	16
D	これまでも取り組んできているもの	5
E	案に取り入れなかったもの	7
合計		57

令和5年9月
江別市企画政策部政策推進課(総合計画・総合戦略担当)

【第7次江別市総合計画（素案）に関するご意見】

NO.	区分	ページ	寄せられたご意見	ご意見に対する市の考え方	取扱区分
1	構想	全般	<p>① もったいない資料 夢のある『こうなると良いなあ』『その為にはこうしないといけないなあ』という資料ですが、足らない目線が有る為、ただの夢物語に見えてしまいます。あえて意地悪に言うと、口当たりの良いだけの総花的で面白みも無いような資料に見えます。 消滅可能性都市と言われていたのだから、もう少し危機感を持ってないだろうか？③でも触れる大学生だが、子供を産んで困る(親御さんからしたら)女子大生の数も含めての評価なのだから言われている数字よりも悪いのは確実。 流行りに乗ったSDGsもこだわりすぎると悪手なので注意が必要です。SDGsは投資の割にお金を産まないと考えますが、金が無い時には諦める事も必要なのでは。</p>	<p>総合計画は、江別市を暮らしやすく、さらに魅力あるまちにするため、目指すまちの姿や、あらゆる分野にわたる取組の方向性を総合的に示した計画であり、現状と将来の見通しを大局的に示す必要があります。 また、現在は、先行きが見通せない状況が続いており、今後この状況が続けば、地域社会・経済が衰退していくことも考えられるため、これまで以上に危機感を持つことが重要です。 しかし、こうした状況にあっても、前向きに希望を持ち、市民の皆さんとともに、住み良いまちを創り上げていくことが最も重要であると考え、子どもから高齢の方まで、多くの市民の皆さんが未来に希望を持ち、持続可能なまちづくりを行える計画となるよう、様々な市民参加の取組によって得られたご意見を踏まえて策定しました。</p>	B
2	構想	全般	<p>② 時は流れる時代は変わる 資料の中で時間軸が有るのは人口推計とカーボンニュートラルくらいでしょうか。これからの時代を考える戦略的な資料ならば、時代の動きとAIを含めた科学技術の進化によって、生活や市と市民の関係がどのように変わっていくかをしっかりと考えなければなりません。それを土台に議論していかないと、戦略など立てられないでしょう。</p>	<p>「えべつ未来戦略」は、今後5年間で重点的・集中的に取り組む内容を示したものです。現在は、近い将来を見通すことが非常に難しい時代であるため、今後は、時代の変化を的確にとらえ、適宜、見直しを行いながら対応していくこととしており、ご指摘の、時代の流れや動きに応じて議論するほか、必要な取組について検討を重ねた上で取り組んでまいります。</p>	B
3	構想	全般	<p>③ 例えば大学生 18歳人口の推移と進学率のグラフです。(グラフの添付あり) 令和元年以降については大学進学率53.7%を使用して推計してあります。 令和元年を基準にすると令和6年には3万人、令和15年には11万人大学進学者が減ることが分かります。当然に、大学は専門性の低い大学や偏差値の低い大学から淘汰されていきます。残念ながら江別の4大学が令和15年以降も全て有り続けるとは考えられません。大学進学率はもう少し上がると言われていますが、何校残りどの程度ネットに対応するようになるのかも調査する必要があります。</p>	<p>江別市は、市内の4大学において、それぞれ個性的な学部・学科が設置され、専門性の高い教育が行われており、若者が行き交う活気のあるまちです。 これから、さらに少子化が進み、本格的な人口減少の到来が見込まれますが、そうした中においても、活気のあるまちであり続けるため、今後も市内4大学と協力・連携しながら、まちづくりを行っていきたいと考えております。</p>	B
4	構想	全般	<p>④ 2025年常識が変わる 2025年問題という様々な問題が有ると言われていますが、一つにデジタルネイチャーが労働者の半数を超えて、マイノリティとマジョリティが逆転します。 デジタルに対する常識がガラッと変わり、サービスの殆どがオンライン上で提供されるようになります。仕事・教育・医療・コミュニケーションの多くがオンライン上で行われるようになります。 常識が変わると言われているだけで、本当に変わるかは分かりませんが、それを踏まえた資料とは読み取れなかったです。戦略というのであればもっと考えた方が良いのではないだろうか。</p>	<p>一般的に、団塊の世代が、75歳以上の後期高齢者になることによる社会保障費の増加や働き手不足などが2025年問題と言われており、この問題の影響を緩和するためには、デジタル技術の活用が有効な取組の一つと言われております。 そのため、あらゆる分野でデジタル技術の活用の可能性を探りながら、江別市にとって効果の高い取組を行っていき必要があると考えたことから、「デジタル技術で住みよい明日を切りひらく」を「えべつ未来戦略」の戦略の一つに位置付けたものであり、時代の変化を的確にとらえながら、市民の暮らしを豊かにするために必要な取組を行ってまいります。</p>	C

NO.	区分	ページ	寄せられたご意見	ご意見に対する市の考え方	取扱区分
5	構想	全般	<p>⑤ シンギュラリティが起こるよ 2030年(2040年とも言われています)にはシンギュラリティ(AIが人間の知能を超える)が起こると言われていますね。AIやロボットが24時間働くようになり、相談事も特化したAIが人間以上の対応をするようになるでしょう。 ④⑤についてはどのような社会に変わって行くのかをある程度以上の知識を持った人からしっかりと学ばなければ他の市区町村に後れを取ることになります。</p>	<p>今後の市政運営には、デジタル分野をはじめ、あらゆる分野において高い専門性が求められるため、外部の学識経験者や関係団体などからの助言を受けながら、時代の変化に柔軟に対応できる組織づくりを行ってまいります。</p>	B
6	構想	全般	<p>⑥ 敵もいるんだよ どこの市区町村も表立っては言わないけれど、よその町から人と仕事を(人口と企業を)奪い取ろうとしています。 新札幌は再開発で江別や北広島から人を奪おうと画策し、江別は大学を奪われました。病院も充実し看護学校の誘致にも成功しました。魅力的な街づくりを官民一体となって進めています。 北広島はボールパークを起爆剤に街の活性化、駅前再開発と新駅の建設などで魅力的な街づくりを計画しています。人口の増加も見込まれ建築工事も多い様子です。 千歳は、ラピダスの5兆円効果で発展は確定です。道内外どころか国外からも人材を集めていますし、ラピダスとその関連工事で6千人の労働者が来ると言われています。 江別からどこにどれだけ人が流れていくのか、奪われていくのか分からない状況です。江別も攻める事と守る事をもっと考えなくてはならないと思うのですが、一切触れられていません。</p>	<p>今後の市政運営は、これまで以上に近隣自治体の動向を意識しながら、広い視野を持って様々な課題に取り組んでいく必要があるものと認識しております。 まちづくりに関する市民参加の取組では、現状の江別市の地域資源や強みを生かしながら、住み良いまちであり続けてほしいという意見を多くいただいたことから、さらなる少子高齢化と人口減少下にあっても、住み良いまちを維持するため、基本理念の一つである「新しい時代に挑戦するまち」に基づき、地域課題の解決に取り組んでまいります。</p>	B
7	構想	全般	<p>⑦ 江別だけが持っているカードは 他の町から攻められるだけの江別に見えますが、他の町にはなくて江別だけが持っているカード(強み)は何が有るだろうか。 ・4つの大学(③で言うようにいつ迄有るかは分からないが) ・石狩川 ・交通の要所・5つのJR駅・2つのインターチェンジ・高規格道路(3年後?) ・まだ確定していない75000m²の国道に面した市役所建替え用地 ・江別選出の代議士(和田義明)が内閣府副大臣をしている 等が挙げられるかと思うが、江別の強みをどう生かしていくのかは、今回の計画ではあまり読み取れなかったです。 交通の要所というのは江別の魅力・強みでも有るが、それは通り過ぎる街やストローク効果で人口が流れ出してしまう街という諸刃の剣でもある。</p>	<p>江別市の強みは、子育て世帯の転入や大学生が多いほか、良好な交通アクセスや、野幌森林公園をはじめとした豊かな自然など、充実した暮らしを送ることができるバランスのとれたまちであると考えております。 これらの強みや、地域資源を生かしたまちづくりを行うことが、今後も、住み良いまち江別を守ることにつながることから、九つのまちづくり政策全てにおいて、積極的に活用しながら、まちの魅力を最大限に高めることができるよう、取り組んでまいります。</p>	B
8	構想	全般	<p>⑧ 無い袖は振れない 人口が減り高齢者が増え、企業の誘致も上手く行っていない江別なので、将来的に入ってくる税金も減り続け財政的には苦しくなるでしょう。ベッドタウンではギリ貧です。 それが解っていて金の話が一切出てきていないが、これはさうゆう資料で良いのか？ 金が無いのだから優先順位も付けるべきだと思うのだけれどもどうなっているのだろうか？</p>	<p>今後は、人口減少や少子高齢化が進む中、社会保障費の増加や、公共施設の老朽化への対応など、これまで以上に厳しい行財政運営が見込まれます。 そのため、まちづくりの主な課題では、「持続可能な行財政運営」を掲げ、事業の見直しを行いながら、人口減少対策や企業誘致を積極的に行い、市税収入の確保に努めるほか、限りある資源と財源を最大限に有効活用して、将来にわたって安定した行財政運営を行うこととしております。</p>	B
9	構想	全般	<p>⑨ 消滅可能性都市だよ 消滅可能性都市だという危機感をもって作成された資料なのでしょうか？そして周りには敵がいることを意識した資料なのでしょうか？教えて下さい。</p>	<p>本計画は、人口減少を重要な問題ととらえ、本格的な少子高齢化や人口減少が到来することを認識し、危機感を持って創り上げてまいりました。 また、不安定な社会経済状況の中でも、みんなで力を合わせ、希望を持って、将来にわたり、安心して住み続けられる江別市を目指す方向性を市民の皆さんと共有するための計画にすることを心がけました。 また、今後のまちづくりにおいては、近隣自治体と共通する課題を解決するため、さらに連携していく必要があるものと考えております。</p>	B

NO.	区分	ページ	寄せられたご意見	ご意見に対する市の考え方	取扱区分
10	構想	全般	国内総生産（GDP）に相当する江別市の総生産を確認し、総生産の増加（減少）見通しから、2033年における江別地域の発展の姿を市民に示し、共通の認識のもとに計画を推進すべきでないか。 農業、工業、観光収入だけでなく、流通、交通運輸、建設、サービス、公共料金などの算出、医療・介護・福祉・教育等の機関施設の収益、公共事業、国の補助金、地方交付税、年金や扶助等の国の給付、市民が市外で得る所得などのすべての生産力の掌握と見通しが示される必要がある。	国内総生産（GDP）は、一定期間内に国内で生産された財（モノ）・サービスの付加価値の合計額であり、経済活動を考える上で重要な指標であると認識しております。 一方で、まちづくりは、経済活動のみならず、様々な視点に立って行っていく必要があります。 総合計画の将来都市像では、「幸せが未来へつづくまち」を掲げ、市民一人ひとりが幸せを感じられるまちづくりを行うこととしていますが、これは、経済活動の活性化だけで実現されるものではなく、人とのつながりや安全・安心を感じられることなどを通して実現されるものと考えております。 個別の施策を行う上では、国の動向をはじめ、経済や福祉などのあらゆる分野におけるデータについて、総合計画と整合を図る個別計画において把握しながら、適切に推進してまいります。	B
11	構想	全般	多世代間の交流 ① 子どもと高齢者の交流：高齢者施設に子どもの遊び場があり自由に交流 ② 世代間や性あらゆる偏見と差別を乗り越えた共生のまち	本計画では、まちづくりの主な課題に「地域のつながりづくり」を掲げ、地域における住民同士のつながりづくりが必要であるとしております。 また、「共生社会への対応」では、多様な主体が、ありのまま、誰もがいきいきと暮らせる共生の社会を目指す必要があるとしていることから、性別、年齢、国籍、文化の違い、障がいの有無などに関わらず、多様な主体が交流し、誰もがいきいきと暮らすことができる共生のまちづくりを進めてまいります。	C
12	構想	P 7	総合計画の期間の10年はおおむね妥当と考えるが、国際情勢も含めてこれまで以上に変化の激しいことが想定されるので、「えべつまちづくり未来構想」と「えべつ未来戦略」だけでなく、情勢の変化に応じて総合計画の見直しも検討することを示すべきでないか。	総合計画の計画期間は、基本的な見直し時期を示しております。 今後、社会経済状況が想定よりも大きく変化した場合などには、必要に応じて見直ししてまいります。	C
13	構想	P 1 1 P 1 7	はじめて人口減少に対峙する計画で人口見通しは重要なファクターである。計画の人口見通しが、江別市独自の見通しか、社会保障・人口問題研究所の推計値か、明らかにすべきである。	ご意見を踏まえ、令和4年に実施した江別市独自の人口推計であることを明記いたします。	A
14	構想	P 1 3	2050年にカーボンニュートラルを目指すことは理解できるが、目標に向け何をやるかが全く示されていない。江別市で考えられる手法を例示すべきでないか。	総合計画は、今後10年間で、市が行う公共活動のあらゆる分野で取り組む方向性を示す指針となるものです。 具体的な取組につきましては、個別計画の中で定めて取り組んでまいります。	B
15	構想	P 1 3	（4）脱炭素・循環型社会への対応、【背景】の第2段落、第3段落について、カーボンニュートラルの宣言、日本だけでなく、北海道も入れては、どうでしょうか？ 例）日本及び北海道においても、令和・・・	脱炭素・循環型社会への対応における背景では、世界的に大きな問題になっている地球温暖化や気候変動について述べており、世界各国のみならず、日本においても取り組むことを記載している項目であることから、地方公共団体における取組の記載はあえて行わない方向で考えております。	E
16	構想	P 1 3	（4）脱炭素・循環型社会への対応、【江別市の課題】について、「身近に感じられる緑の空間」は、こだわりをお持ちの表現だとは思いますが、理解するのに、ちょっと時間がかかります。後の「大自然」と呼ばれた表現が良いと思います。 例）公園や市街地などの（orにある）身近な自然	身近に感じられる緑の空間は、公園や市街地などにある緑を表現した記載ではありますが、人によって作り出した道路の花壇や街路樹、公園にある木々や緑地などについては、自然という言葉とは異なる表現にしております。	C

NO.	区分	ページ	寄せられたご意見	ご意見に対する市の考え方	取扱区分
17	構想	P13	(4) 脱炭素・循環型社会への対応、【江別市の課題】について、第2段落の「市民」は、事業者も含まれ、「様々な活動」の中に、事業活動も含まれると思うのですが、それを明確に表現しておいた方が良いと思います。 例) 日常生活および事業活動をはじめ…	江別市自治基本条例（平成21年条例第22号）において、市民は、個人だけではなく、市内で事業活動を行う団体なども含むこととしており、総合計画における記載は、これを前提としているため、具体的な定義や説明は記載しておりません。	C
18	構想	P14	(7) 持続可能な行財政運営、【背景】の3段落目について 例) 課題の解決に向けて、他自治体などと連携する広域的な取組の…	文章の表現に関するご意見と受け取りましたが、他自治体などが連携する必要性を冒頭で用いることにより、印象を持っていただくことを目的とした記載としました。	E
19	構想	P15	(1) まちづくりの基本理念の④について、「など」がついているので、野幌森林公園、石狩川だけを守るという意図ではないと思うのですが、どうしても、その2つだけを守るようなニュアンスが感じられるので、修正を提案します。 例1) 生きることができるよう、身近に存在する豊かで美しい… 例2) 生きることができるよう、道立自然公園野幌森林公園、石狩川をはじめとした身近に存在する豊かで美しい…	江別市が有する自然は、道立自然公園野幌森林公園や石狩川だけではなく、それ以外の自然についても守っていくという意図です。 市民参加の取組や、江別市行政審議会からは、江別市が有する自然を具体的に述べ、市内外に示すことも重要であるとの意見を多くいただき、今回の表現にすることとしました。	C
20	構想	P17	第2章3-(3) 将来人口の考え方では、高齢化はさらに進み、令和2年(2020年)に30.4%であった65歳以上の割合が、令和15年(2033年)には37.1%に高まることによって、世代間の人口構成にも変化が見込まれます。と分析されております。 政策3、福祉・保健・医療では高齢者福祉の充実で 1. 地域交流と社会参加の促進 2. 介護予防と自立生活の支援 3. 高齢者福祉サービスの充実 以上の項目を記載されているが人口比で占める割合の多い高齢者の政策にはあまりにも希望が感じられる具体性に乏しいのではないかと。	総合計画は、江別市を暮らしやすく、さらに魅力あるまちにするため、目指すまちの姿や、あらゆる分野にわたる取組の方向性を総合的に示した計画であり、具体的な取組については、総合計画と整合を図った個別計画を定めて実施していくこととしております。 また、今後のまちづくりには、高齢者がいつまでもいきいきと暮らすことができる政策も重要であると考えていることから、具体的な取組については、「えべつ未来戦略」の戦略2「幸せに歳を重ねられる暮らしをとどける」でも重点的・集中的に行っていくこととしております。	B
21	構想	P18	集約型都市づくりとして6次計画の基本理念を引き継ぎ、市街化区域の拡大より効率的でまとまりのある都市づくりのコンパクトシティを目指すことを明確にすべきである。	都市づくりの方向性では、駅周辺を拠点とする集約型都市づくりを掲げており、コンパクトなまちづくりを目指すこととしていますが、いただいたご意見を踏まえ、より分かりやすい説明となるよう、見直すこととします。	A
22	構想	P18	江別市の交通優位性はJR、高速道路だけでなく整備された道路網、公共交通の利便性も大きいと考えられ明確な位置づけが求められる。	本計画では、江別市の強みの一つとして、充実した交通アクセスを紹介しているほか、都市づくりの方向性においてもアクセスのしやすさについて記載しております。 これは、JRやインターチェンジのほか、道路網なども含めたアクセスのしやすさについて述べているものであり、今後も江別市の強みを生かした都市づくりを目指してまいります。	C
23	構想	P19	政策1自然・環境の(2)循環型社会の形成について、ごみの減量化の中に含まれていると思うのですが、発生抑制を、具体的施策として項目だてした方が、意図が、より明確化されると思います。 例) 1ごみの発生抑制の推進、2ごみの減量化と…	食品ロスの削減をはじめとする、ごみの発生抑制・減量化・適正処理の推進は、一体的に進めていくことが重要であることから、ごみの減量化と適正な処理の推進を一つの取組として具体的施策に掲げて取り組んでまいります。	E

NO.	区分	ページ	寄せられたご意見	ご意見に対する市の考え方	取扱区分
24	政策	P 1	<p>政策1 自然・環境、(1)②水と緑の保全に関わると思われる意見を述べさせていただきます。</p> <p>私の居住地は身近に湯川公園・防風林など大きな樹木が豊かに生い茂っているところです。朝・夕散歩を楽しむ人々、遠くから犬をつれて来られる方、芝生でボール遊びの小中学生や遠足の幼稚園・保育園児が遊具で楽しんでいる・・・木々から季節の移り変わりも楽しみ、恵まれた自然環境の地域と言えます。</p> <p>ただ、近年の気候変動による暴風や台風・大雨によって、倒木の危険性を感じるようになってきています。外観から素人の市民にとって樹木の状態を判断できるものではありません。</p> <p>春先から公園の木々にピンクや黄（黒文字印字）のテープが巻かれ点検された印と理解することができ、いつか手入れがされるのだろうと察することができますが、いつどのような形で処置、修復されるのかわかりません。</p> <p>先日、江別地域で強風のあった翌日、4番通りで湯川公園の真向いの高齢の男性が庭先に腰をかけ、ずいぶん長い間大木を見つめていましたのでお声をかけたところ、「TVで家が台風の倒木で壊れたのを見たから心配で・・・」と不安に話されました。私も同じ不安を感じます。</p> <p><提案></p> <p>市のホームページなどで、市内の公園の安全巡回点検の日程、必要修復内容と実施予定などを公開していただくしくみを作っていただきたい。</p>	<p>公園にある樹木については、巡視パトロールや専門業者による点検を行い、倒木の恐れがある樹木が確認された場合には、その都度対応しております。また、樹木の生育が望めないものや、部分的な剪定等が必要な樹木については、目印となるテープを設置し、利用者及び周辺への危険性等を踏まえ、優先順位を持って対応しております。</p> <p>いただいたご意見につきましては、担当部署に伝え、水と緑の保全及び安全で快適な公園環境づくりに生かしてまいります。</p>	B
25	政策	P 1	<p>政策1 (1)②水と緑の保全の文の意味がよく読み取れません。「身近な緑の保全に努め」る取組と「緑を守り(つつ)活用する」取組を進めるとともに、河川や湖沼などがもたらす良好な自然環境を守る取組も行うという、3つの取組を行うということでしょうか？それとも、前の2者の取り組みを行うことで、3つ目が達成されるという意味でしょうか？そのあたりを明確にした表現に修正していただけたらと思います。</p>	<p>緑の保全・活用と、河川や湖沼などがもたらす良好な自然環境を守ることは、市民、事業者、行政の協働により、取り組んでいくための具体的な施策であることから、いただいたご意見を踏まえ、より分かりやすい説明となるよう、見直すこととします。</p>	A
26	政策	P 1	<ul style="list-style-type: none"> 政策1 (1)④で、後述されると思うのですが、現在の表現だと、環境配慮が見えてきません。 例) 地域に適した再生可能エネルギーの導入・・・ 政策1 (1)④で、市有施設での活用には、導入も含まれると思うのですが、このままだと、再エネ電力の利用のみと捉えられかねません。 例) 市有施設での導入・活用 	<p>再生可能エネルギーの導入は、江別市全体で拡大に向けた取組を行っていく必要があるとしておりますが、環境への配慮も合わせて行っていくこととなります。</p> <p>また、導入後の活用に当たっては、具体の検討を重ねながら市有施設においても推進していくこととしております。</p>	C
27	政策	P 1	<p>政策1 (1)⑤で、主語と述語の関係が、途中で崩れています。</p> <p>例) 環境についての・・・提供を通じて、市民、事業者が・・・自覚するよう(に)促し、(市民、事業者における)環境保全の・・・取組の意欲と能力を高めます。</p>	<p>ご意見を踏まえ、より分かりやすい説明となるよう、見直すこととします。</p>	A
28	政策	P 3	<p>政策2 産業の政策展開の方向性に、「産業の創出」とありますが、創出とは新たに創り出すことで、続いて記載された方策とは、やや異なる印象を受けます。続いて記載された方策からは、江別に既にある産業をさらに伸ばしたり、組み合わせたりしていくというような事を目指すような印象を受けますので、創出ではなく、そのようなことがわかる表現とした方が良いと思います。</p>	<p>ご意見を踏まえ、より分かりやすい説明となるよう、見直すこととします。</p>	A
29	政策	P 3	<p>政策2 (1)②地産地消の目的は、食材への安心感を育むことではないと思います。</p> <p>例) えべつ農業に対する理解を深め、食材への安心感を育むことで、生産者と消費者を結びつける(or 結びつけ、)地産地消を推進します。(また、このことによって、脱炭素社会の実現に貢献します。)</p>	<p>地産地消の推進に当たっては、記載のとおり、えべつ農業に対する理解を深めていただくこと、また、食材への安心感を育むことの2点を目的として記載しております。</p>	C
30	政策	P 7	<p>政策3 (2)健康増進活動の推進に、次の点を明記する。</p> <p>健康とは、心身の健康だけでなく社会的にも完全良好な状態(ウェルビーイング)をいうと、WHOも指摘している。</p> <p>高齢者や障がい者等だけでなく全ての人に求められます。</p>	<p>今回の総合計画では、分かりやすい計画になるよう、努めてきたところであり、ウェルビーイングについても、分かりやすさという観点から文言は使用してはおりませんが、その考え方は重要だと認識しております。</p> <p>また、子どもから高齢の方まで、また、障がいの有無などにかかわらず、全ての市民の皆さんが、心身ともに健康になり、安心して歳を重ねられるまちになるための取組を進めてまいります。</p>	C

NO.	区分	ページ	寄せられたご意見	ご意見に対する市の考え方	取扱区分
31	政策	P 7	<p>政策3（3）障がい福祉の充実について、作業所や一般就労の現場では、労働環境として少なからず差別や偏見があるようで生き生きと安心して働けない状況もあるようです。</p> <p>市として労働環境等について実態調査など実施し、実態を把握され支援の充実に努めてはどうかと思います。</p>	<p>市では、障がいのある方が安心して生活できるよう、様々な支援に取り組んでいるところであり、日常生活をはじめ、就労に関する相談支援を行っております。</p> <p>また、市が設置している「えべつ障がい者しごと相談室すてら」では、障がいのある方からの就労全般に関する相談を受けるほか、就労先を巡回するなどの支援を行っております。</p> <p>ご意見については、担当部署に伝え、今後も障がいのある方の就労環境の向上に向けた取組を進めてまいります。</p>	B
32	政策	P 8	<p>政策3－（4）高齢者福祉の充実、③高齢者福祉サービスの充実への意見</p> <p>8月8日付け道新の市民説明会の記事に「残りの人生を安心して、全うできる医療と介護の充実も重要」と書いてあったが、「も」ではなく「が」ではないですか？大多数の高齢者は「医療・介護」が必要となる日はくるので、もっとも重要です。ですが、その前に先ずは、それらを先送りできるくらい困りの人に迷惑をかけぬよう安心して元気に自立した生活ができるようにするべきではないかと考えています。</p> <p>「国」は「子供のサポート」ばかりです。「江別」は「高齢者のサポート」をしてください。</p> <p>特に、兄弟・子供等、身寄りの無い独居高齢者です。先々、様々な問題が起こるのが目にみえています。一戸建てに住んでいれば維持が難しくなり、孤独死するというのも現実にあるし、アパート等に移りたくても、身元引き受けが無いことや、死後処理問題等で、貸し渋りにあうこともある。市営住宅に入りたくても一戸建てからの住み替えはできません。施設に入るにしても、身元引き受けがなければ入所できない所もある。今現在困っている人もいます。</p> <p>札幌には、サポートするNPO等はあるが、多額の費用がかかるため、余裕の無い、年金だけでは足りず利用できない人はどうすればよいのですか？行き来の時間のムダもあります。これから先、不安だらけの人達のことを江別市で、考えてください。</p> <p>そうでなければ「安心」は得られません。</p> <p>「高齢者のサポート」に力を入れている自治体は増えてきてはいるようです。（横須賀市←TVに出ていました。北海道本別町←新聞に出ていました。）</p> <p>「高齢者のすべて地元江別で解決！」これを実行してください。</p>	<p>ご指摘の内容は、令和5年8月5日に開催した、えべつ未来づくりビジョン素案の市民説明会におけるパネリストからのご意見であり、発言の趣旨は、いつまでも元気でいられる取組の必要性を感じつつも、いつかは医療・介護サービスを利用する時が来るため、その重要性について述べられたものととらえております。</p> <p>江別市としても、医療・介護サービスのニーズは高まっていると認識しており、今後も必要とする方に、必要なサービスを提供できる体制を整える必要があるものと考えております。</p> <p>また、歳を重ねることによって、医療・介護の問題のみならず、様々な不安や悩み事が生ずることが想定されるため、そうした際に、気軽に相談できる場の確保についても、引き続き、取り組んでまいります。</p>	B
33	政策	P 8	<p>政策3（4）高齢者福祉の充実、③高齢者福祉サービスの充実への意見</p> <p>☆「シニアサポート課」を作る。</p> <p>・江別市で独居高齢者の身元引き受けや死後の後始末を引き受ける。（遺骨の行き場がない等ということを防ぐことができる。）</p> <p>・市内全ての「高齢者入居施設」のパンフレットを置くなど、情報を得るスペースを作る。（ネットと無縁の人達が情報を得られるように）</p> <p>・社協・福祉課・介護課へ繋がるまでの相談ができるようにする。</p>	<p>高齢者の様々な不安や悩み事は、市や社会福祉協議会のほか、地域包括支援センターに専門員を配置して、包括的に聞き取り、高齢者向け住宅の情報についても、冊子をまとめて各種施設に設置しているところです。</p> <p>今後も、広報えべつなどを通じて、相談の場についての情報発信に努め、不安や悩み事の解決に向けた支援を行ってまいります。</p>	D

NO.	区分	ページ	寄せられたご意見	ご意見に対する市の考え方	取扱区分
34	政策	P 8	<p>政策3（4）高齢者福祉の充実、③高齢者福祉サービスの充実への意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気なうちから、生活ができる「高齢者住宅」を作る。（「自分でできることは、自分でする。」普通に、あたりまえの生活ができる普通の住宅）できなくなれば、施設入居への道筋に繋げる。（「江別地区」「野幌地区」「大麻地区」それぞれに） ※全て、元気なうちに、自分の身の振り方を決めて、困りの人に迷惑をかけることがないようにするためです。 ※サポートを受ける条件としての例… ・兄弟・子供が無く全くの独り身で、親戚がいても疎遠で、身元引き受けをする人がいない。 ・預託金を支払う。（死後処理に税金を投入することを少しでも減らすため。） ・60年以上、江別に住んでいる実態がある。（このサポートを受けるため他地域から移ってくることは不可とするため。） ・「公正証書遺言書」作成し、個人の意志を明確にしておく。（遺産があれば、使い道を決めておく。（どこかへ寄附する等。）遺骨の行き先を決めておく。（縁のあるお寺があればそちらへ安置））…等。 ☆ネットとは無縁だし、法律のことなど全く分かりません。だれでも全ての人がただ、安心して江別で暮らせるようにしていただきたいだけです。 	<p>高齢になっても住み慣れた地域や自宅で生活したい方が多いため、情報提供や支援を行う必要があることを認識しており、高齢者の様々な不安や悩み事は、市や社会福祉協議会のほか、地域包括支援センターに専門員を配置して、包括的に聞きしているところです。</p> <p>今後も、広報えべつなどを通じて、相談の場についての情報発信に努め、不安や悩み事の解決に向けた支援を行ってまいります。</p>	D
35	政策	P 8	<p>政策3（4）高齢者福祉の充実について、地域交流や社会参加の促進で、参加するための移動手段の充実も必要かと思えます。公共交通機関を利用するにあたり自己負担が少なく、安心して出かけられる支援の検討も必要かと思えます。</p> <p>また、加齢性難聴者への支援も必要かと思えます。難聴の早期発見と補聴器購入費の補助の支援が求められるのではないかと思います。難聴者の実態調査も行ってはどうでしょうか。</p>	<p>今後は、高齢化がさらに進むことが見込まれており、高齢者の移動に関しては、様々な課題があるものと認識していることから、安心して地域交流や社会参加ができるよう、課題を整理しながら取り組んでまいります。</p> <p>また、加齢に伴う難聴者も増加することが予想されることから、これらのご意見については、担当部署に伝え、高齢者福祉の充実に向けた取組を進めてまいります。</p>	B

NO.	区分	ページ	寄せられたご意見	ご意見に対する市の考え方	取扱区分
36	政策	P 9	<p>江別市に住んで二十数年、住み続け時を過ごす大切さ、そこに住む一人一人が犯罪をしない、させない、逢わない、違法はしない、させない、違反をしない、させない、事業者を含むひとり一人が、ルールを守りながら「良好な住まい環境をつくる」こと、そして行政がいかに住民への手助けを出来ることがとても重要と感じている次第です。</p> <p>一方、以下に掲げる経験を踏まえ、一人ひとりがルールを守ることがいかに大切なのかを痛感いたしております。</p> <p>①二十数年前に自宅の隣に新しい家屋が建築されたが、それに伴い被害が多発し、貴市の建築指導課に依頼し、建築基準法違反に対する指導を行って頂いております。しかし、当初より設置業者及び持ち主からは車庫建設による建ぺい率、容積率等の違反は街中の多くの家屋の持ち主の皆さんも行っており、あなたは世の中を知らない過ぎると主張し、現状変更する意思はない考えを繰り返しております。</p> <p>②隣からの被害は、隣の屋根から隣地の敷地内への落雪により人や物への被害も発生しております。大量に蓄積された隣の屋根の雪庇が毎年のように、隣地の当敷地内に落ちて来ることから何年かおきに隣に注意喚起を行い、道路や隣接地への落雪事故が発生すれば設置業者や建物の所有者への責任が問われることもあり得ると説明するも効果が無く、今年の年明けにはついに自宅内を歩行中に隣の雪庇が肩に直撃し、バットで殴られたような衝撃を受けたことから通院し、現在も治療を継続しております。隣の主張は、大雪が降れば隣地に屋根の雪が落ちるのは周囲を見ても仕方ないことである。建物の所有者側として防ぐのは困難なため、隣接の歩行者側が屋根の落雪に注意するしか方法がないとのことでお互いの主張は噛み合わなく、行政機関の相談窓口がないのも現状である。(なお、(一財)北海道建築指導センターには相談をさせていただいております。)</p> <p>③昨年、自宅付近の道路を子犬を連れて散歩中に、突然家屋の角から放し飼いの大型犬が突進して来たので驚いて子犬を抱きかかえたところ、飛び掛かって来て腕をがぶりとかじられ痺れが続いている。最初に通院した整形外科では治療の効果がなく、次の整形外科で診てもらおうとしたら、ワクチン接種の写しをもって来てもらいたいと指示されたので、飼い主に伝えたと、室内犬で外には出さないでワクチン接種はしたことがない、今回またまた外に逃げて行くと説明され唖然とした次第。</p> <p>④再度雪庇に関するのですが、昨年の大雪に伴い、所有の家屋の屋根に一部欠落箇所が発生したため、保険会社に連絡したところ、修理会社を探して見積りを取るよう依頼があり、インターネットから修理会社を検索して家屋を調査してもらい、「契約申込書」にサインをしたものの、その後、修理会社から見積書が送られて来て話しを聞いたところ、春先までは雪が多くて工事が出来ないで、申込書に記載があるように、工事は行わないで、損保会社からの見積書の50%を当社に振り込んでください、弁護士の承諾も取っているとの連絡を受けました。確かに、申込書には、「契約者が、加入保険損害会社に保険金を請求し、保険金を受領した場合には、契約者は当社に対し、当該受領金額の50%を調査費用として支払うものとします。」と記載がされていました。最終的には、契約書を取り交わして保険金の工事着工をしてもらったが、会社の場所が存在しないなど、工事に至るまで相手との議論を繰り返し行いかなり難航した次第です。</p> <p>以上の経験を踏まえ、パブリックコメントへの意見をさせていただきます。</p> <p>政策4安全・安心【基本目標】・安全で安心して住み続けられるまち → 一人ひとりがルールを守り、安全で安心して住み続けられるまち(犯罪のない安全で安心した暮らしを構築するためには、事業者を含む一人ひとりが社会規範としてのルールを守ることが求められることから、記載の追加を要望したい。)</p>	<p>安全で安心した生活を送るためには、法律をはじめとしたルールを守る必要があるものと考えております。</p> <p>この考え方は、全ての政策の前提となるものであるため、ルールを守ることについて、個別の政策への具体的な記載は行わない方向で考えております。</p>	E
37	政策	P 9	<p>政策4(1)安全な暮らしの確保、①で、子供たちに対する交通事故の防止が掲げられておりますが、高齢者の事故も年々増加していることから、高齢者に対する交通事故防止についても一言追加されてはいかがでしょうか？</p>	<p>ご意見を踏まえ、高齢者に対する交通事故防止に関する文言を加えることとします。</p>	A

NO.	区分	ページ	寄せられたご意見	ご意見に対する市の考え方	取扱区分
38	政策	P 9	<p>政策4(1)安全な暮らしの確保、②防犯活動の推進において、連携強化や啓発等が記載されておりますが、個別の条例においては、「江別市犯罪及び交通事故のない安全で安心なまちづくり条例」が制定されております。</p> <p>この中では、犯罪と交通事故に特化して取り上げられておりますが、昨今、事故には落雪事故等多岐に渡る事故等が発生していることから、現状と課題を再整理していただいて、様々な事故の現状を分析のうえ、事故「等」を追加して頂いて、今後見直しを図っていただければと存じます。</p> <p>屋根からの落雪については、いくつかの行政サイドのホームページ上で、例えば、「屋根からの落雪予防として、その目的、建築、所有者等への注意喚起、行政のかかわり、北海道建築指導センターの屋根と落雪距離の抜粋」などを紹介し、屋根雪が道路や隣地に落下する可能性があるときには、行政とのかかわり(市は屋根からの落雪の危険が予見される場合には、建築主、設計者、所有者に対して、是正の注意喚起をすることがある。)についても注意喚起が触れられており、貴市においても、個別計画とは別に実施部門において雪庇に関わる注意喚起をしていただくことが可能であれば、警察署とも連携して取り組んで頂くことを望みます。</p>	<p>江別市犯罪及び交通事故のない安全で安心なまちづくり条例(平成23年条例第6号)については、落雪事故を含めることについては、条例の趣旨に関わるものであるため、検討を要するものと考えます。</p> <p>また、冬期間は、道路への落雪などにより、歩行者が巻き込まれるなどの事故の恐れがあることから、広報えべつなどで注意を呼びかけるなどの取組を引き続き行うほか、いただいたご意見を担当部署に伝え、今後も安全・安心なまちづくりを進めてまいります。</p>	D
39	政策	P 9	<p>政策4(1)安全な暮らしの確保、③市民相談の充実で、各種相談窓口の設置には賛成ですが、形式上の窓口ではなく幅広い専門知識を有する専門員を常駐していただいたうえで相談窓口となるよう期待したい。</p>	<p>市では、市職員が相談員となる一般相談のほか、弁護士が相談員となる法律相談や、人権擁護委員が相談員となる人権相談など、様々な相談窓口を設置しております。</p> <p>今後も、市民の皆さんの幅広い相談に対応できるよう、相談体制の充実を図ってまいります。</p>	D
40	政策	P 10	<p>政策4(2)③の2行目「…協働して、防災体制の強化を図ります。」 例)「…協働して、防災・減災体制の強化を図ります。(政策1-(1)-4の市有施設への再生可能エネルギーなどの導入・活用は、この体制強化に寄与するものです。)</p>	<p>減災とは、災害による被害の発生を想定した上で、その被害を低減させることを意味しており、広く防災の中に含まれるものと位置付けております。</p>	C
41	政策	P 12	<p>政策5都市生活、(1)の②安全で快適な公園環境づくりの項目に対し、 <提案> 公園に関する意見 ・野幌末広町えんじゅ公園にトイレの設置を要望します。 ・年々利用者がふえ、遊具も充実して来ている。トイレ設置基準を満たしていると思われるこの公園に未設置なのは、何故でしょう。</p>	<p>市では、ワークショップなどを通じて、より良い公園づくりを市民協働で取り組んでおりますが、一定の基準を満たせばトイレを設置しなければならないものではなく、市民の皆さんとの協議を経て作り上げていくものであります。</p> <p>えんじゅ公園について、担当部署に確認したところ、平成22年度に地元自治会及び校区の小学生を対象としたワークショップにより、整備計画を作成し、翌年度に整備した公園であります。その際、トイレの設置についても協議がなされましたが、地元との協議の過程で設置しないこととされた経緯があります。</p> <p>今後も、市民の皆さんのご意見をお聞きしながら、魅力ある公園づくりに努めてまいります。</p>	D
42	政策	P 12	<p>政策5(1)③住宅困窮者=子育て世帯、高齢者、障害のある方、という捉え方になる恐れがあります。そういう意図ではない気がしますので… 例)…セーフティネットとしてだけでなく(としての機能に加えて)、子育て世帯、高齢者、障害のある方など、すべての方が、安心して…</p>	<p>市営住宅は、一定の基準を満たした方に安心して入居いただけるよう整備しておりますが、子育て世帯や高齢者、障がいのある方などにも広く利用いただくための入居要件を設定し、住宅のセーフティネットとしての役割を果たしていることから、全ての子育て世帯、高齢者、障がいのある方を住宅困窮者とは認識しておりません。</p>	E
43	政策	P 13	<p>政策5(1)④上下水道事業の推進について、1(1)③に含まれているとは思いますが、市民・事業者に対する情報提供によって、適切な上下水道の利用を呼びかけることも加えてはいかがでしょうか？</p>	<p>上下水道に関する市民への情報提供については重要なことと認識しており、まちづくり政策で具体的な記載はしていませんが、上下水道事業に関する個別計画である「江別市上下水道ビジョン」の中に、情報提供の充実にも努める旨を記載しております。</p>	C

NO.	区分	ページ	寄せられたご意見	ご意見に対する市の考え方	取扱区分
44	政策	P 1 5	政策6(2)子どもの教育の充実について、①教育環境の充実で、猛暑における安全対策が急がれるのではないかと思います。今後も、毎年、猛暑は続くと思いますので、子どもたちが安心して学ぶことができるために、全教室へのエアコンの設置などの検討が必要だと思います。	近年の記録的な暑さは、児童生徒の教育環境に大きな影響を与えており、これまでも市内の全小中学校において、網戸の設置や扇風機などの設置を進めてきましたが、エアコン設置に関しては、財源や施設面など、課題の検証が必要となることから、いただいたご意見は、担当部署に伝え、教育環境のさらなる充実に努めてまいります。	B
45	政策	P 1 7	政策7生涯学習・文化・スポーツの「政策展開の方向性」に憲法とのかかわりを明記する。 全ての市民の前文に憲法第13条の趣旨を、文化・芸術活動やスポーツ活動の前文に憲法第25条の主旨を明記することによって、各自の生き方が基本的人権と結びつき、えべつのもちづくりの理念が深まると考えます。	日本国憲法第13条及び第25条は、それぞれ、いわゆる「幸福追求権」及び「生存権」について規定された条文であり、直接的な根拠とは言い難いことから、現状の記載により、生涯学習・文化・スポーツの取組を進めてまいります。	E
46	政策	P 1 9	政策8(1)④の3行目、団体と行政あるいは団体同士が相互に連携・補完しながら	連携・補完とするべき理由が述べられておりませんが、連携することにより、お互いの取組が補完されていくことを想定しております。	C
47	政策戦略	全般	まちづくり政策、えべつ未来戦略は現状延長の発想しかない。特に産業振興に目新しいものが全くない。半導体産業やバイオ産業などの先端産業の立地や流通機能の誘致などの戦略が必要である。このままでは千歳・苫小牧から札幌・石狩につながる先進的な産業展開に乗り遅れる。新しい総合計画において参画への意思を明らかにし、具体的な戦略構想を示すべきでないか。	総合計画は、今後10年間における市が目指すまちづくりの方向性を示すものであり、具体的な取組については、個別計画や施策展開方針を定めて実施していくこととしております。 今後のまちづくりは、現状を力強く変えていく考え方と取組が必要である一方で、人口減少下にあっては、現状を維持すること自体が非常に難しい時代であることから、時代の変化に的確に対応しながら、戦略を展開してまいります。	B
48	戦略	P 6	子供が主役の街にするには子育て支援が重要だと思うのですが、新たに実施する子育て支援は無いのでしょうか？(保育園無償化、給食無償化等) 札幌には無い子育て支援を行うことで、人口増加に繋がると思います。 現代は共働きがほとんどなので、保育園無償化はかなり良い政策ではないでしょうか。引越しを考えるにあたって、保育園無償化があると決め手になると思います。	「えべつ未来戦略」では、戦略の一つに「子どもが主役のまちをつくる」を掲げておりますが、その実現には、子育て支援策が非常に重要であると認識していることから、今後も子育てに関する様々な取組を充実させて、さらに多くの子育て世帯を江別市に呼び込み、人口減少対策につなげていきたいと考えております。	C

NO.	区分	ページ	寄せられたご意見	ご意見に対する市の考え方	取扱区分
49	戦略	P 6	<p>私は40年間、江別から札幌に通勤し、子育てと仕事と病気をしながらようやく現役を終え地域が見えてきました。職業は、医療・教育に関わり、小児看護学研究会を通して「子どもと家族」を支援する研究を行ってきました。退職後、培った内容を生かして地域活動をしています。その視点から、出会った子育て家族や学生さんから学び「未来ビジョン」に参加したいと思えます。</p> <p>1、こども主役のまちとは、 1) 子どもとは、乳幼児から青年期までが対象となります。どの発達段階も発達課題がありそれぞれの教育と子育ての楽しさと困難があり、細かく見ていく必要があります。子どもは、発達の障壁を抱えていても、子どもの権利条約によって生命・健康・教育・文化・自己肯定感の尊重が必要です。特に集団に馴染めない発達の困難さを抱える子どもたちの学びの場が、場所が固定せず、親の送迎が必要など家族に負担が大きい状況です。乳幼児期の双子さんや、複数の子どもの親は、子育て支援の会場まで行くことが出来ないと訴えています。高齢者のデイケアのバスのように家の中までお迎えに来て、子どもを分担して抱っこするなどの送迎があれば、家を出られるとの要望です。子どもが理解し歩く5歳まで外出は、できなかったと言う双子さんの母親の話は切実です。子育て支援の場所と人がいても、来られない家族の把握システムが必要です。</p> <p>また、江別は、大学が多いですが学費が高く、コロナ禍で家族の困窮もあり、食糧支援の取り組みに百人単位で集まる現実があります。*アンケートで食事回数は、1から2回で安いものばかり食べて体力が付かず、バイトが多く勉強に専念できない厳しい現状が見えてきます。</p> <p>まとめ *少子化は、子ども目線、女性目線、家族単位の視点で考えると未来が見えてきます。 ① 働きながら子どもを産み育てる環境は、日本は、あまりにもキビしい。核家族で頼りの父の労働時間が長く子育て参加の時間が短く、子どもが病気の時など女性が休みを取らざるを得ない現状では、「生まない選択か一人」がやっとの調査結果があります。*病児保育の拡大を！ ② 高すぎる教育費をドイツやスウェーデンのように大学院まで無料の教育が求められます。国 ③ 学ぶ環境整備：教室にエアコン設置！ 子どもの居場所作り（中高生：音楽・本・休める）</p>	<p>「えべつ未来戦略」の戦略の一つである「子どもが主役のまちをつくる」に関して、少子化対策の観点を交えたご意見ではありますが、全国的な課題と同様に、江別市のまちづくりには、今後、さらに進むことが見込まれる少子化対策が必要となります。</p> <p>そのためには、子どもを主役ととらえて、子どもの気持ちや権利を尊重しながら、成長段階に応じた健やかに育つための環境づくりとともに、仕事と子育てを両立できる子育て世代にやさしいまちを目指す必要があると考えます。</p> <p>特に、近年は、出生率の急速な低下により、少子化が一層深刻な問題になっているため、ご指摘いただいた、子どもが健やかに成長できるよう、子どもの目線に立った取組のほか、保護者の目線での取組も重要と認識していることから、ご意見にある具体的な取組については、国のリーダーシップが必要なものもありますが、担当・関係部署に伝えるとともに、「子どもが主役のまち」を実現できるよう、必要な取組について検討してまいります。</p>	B
50	戦略	P 9	<p>戦略テーマの中の「幸せに歳を重ねられる暮らしをとどける」に焦点を当てた意見を申し上げます。</p> <p>コロナ禍、緊急事態宣言下における公共施設の一律の休館は市や道の関係各位には経験が無かったとは云え、日頃からガイドラインをきっちり守りながら健康維持活動をしている市民にとっては極めて健康を損ねる危険の高い期間でした。NHKのクローズアップ現代の番組では、年配者が短期間でも社会活動の繋がりを絶たれると健康被害のリスクが1.5~2.0倍になるとの研究結果が出たそうです。国家的な医療財政の悪化を軽減する意味でも健康寿命の更なる延伸が叫ばれてはおりますが、江別市においてはその有力な手段となり得る社交ダンスへの理解を見過ごしておられると思えます。</p> <p>全ての年代で古くから親しまれている社交ダンスは、体だけではなく脳にも大きな影響を与えるなど医学的に認められており、後ろ向きは勿論、左右、斜めに歩く動作が格段に多いのが特徴です。</p> <p>江別市内には現在ダンスの基本を教えるサークルは数多くありますが、本格的パーティー形式の継続的なダンス会は1つしかありません。札幌市には区民センターなど社交ダンスに適した多くのホールにてダンス会が催されています。</p> <p>社交ダンスは体育館で多く採用されている滑りの全く無いウレタン塗装のフロアでは安全に踊れません。江別市の公民館ホールのうち、野幌公民館は絨毯系のフロアで滑りに難点があるものの主会場として立地を優先しております。「社交ダンスの街、江別市」を目指して数年に亘り、他の都市に負けない差別化したダンス会をボランティア的に催して参りましたが、フロア条件を主とするハンディにより札幌市他、近郊からの参加者が伸び悩んでおります。</p> <p>更には、健康維持活動には継続性が重視されるのですが、毎月のホール予約には団体届の優位性はなく苦慮しています。</p> <p>以上の環境の中、数年前、超党派の国会議員によりダンスが風営法から除外され、中学校の教育指導要領にも明記されております。音楽性・スポーツ性に加えコミュニケーションをしながら健康寿命を延ばす社交ダンスの有効性に着目して、江別市を活性化させる未来戦略の1つとして活用しては如何でしょうか。</p>	<p>「えべつ未来戦略」の戦略の一つである「幸せに歳を重ねられる暮らしをとどける」は、市民の皆さんが、歳を重ねても江別市に長く住み続けることができ、その生活の中で幸せを感じられるまちづくりを行う必要があると考え、設定したものです。</p> <p>戦略実現には、健康寿命を延ばすための取組が有効だと考えており、ご提案いただきました社交ダンスを含め、健康増進活動を推進し、市民の皆さんが楽しみながら、心身ともに元気でいられるよう、取り組んでまいります。</p>	B

NO.	区分	ページ	寄せられたご意見	ご意見に対する市の考え方	取扱区分
51	戦略	P 9	戦略2「幸せに歳を重ねられる暮らしをとどける」ために、65才になったら、図書カードのように、体育館利用や文化施設への入場参加の無料パスカードを発行してはどうでしょうか。 高齢者が外へ出て、文化にふれ、スポーツ・運動習慣の定着で自分らしく、生きいきと暮らすことができると考えます。	「えべつ未来戦略」の戦略の一つである「幸せに歳を重ねられる暮らしをとどける」は、市民の皆さんが、歳を重ねても、江別市に安心して住み続けることができ、その生活の中で幸せを感じられるまちづくりを行う必要があると考え、設定したものです。 ご提案いただきました具体的な取組を含め、必要な事業について、検討を重ねながら、戦略の実現に向けた取組を行ってまいります。	B
52	戦略	P 1 3	戦略4の(1)背景と戦略の概要 ・最初の3行のつながりが、ちょっと変です。 例) 江別市には、市の10%を占める道立自然公園野幌森林公園をはじめとした豊かな自然と、太陽光や… 発電設備があるなど、持続可能な… ・2段落目 国は、→国や北海道は、	背景と戦略の概要では、冒頭に、温室効果ガスの吸収源としての森林の存在を述べ、次に、再生可能エネルギーによる発電設備があることを述べることで、持続可能なまちづくりが進んでいることを記載しております。 また、背景では、世界的に大きな問題となっている地球温暖化や気候変動について述べており、世界各国のみならず、日本においても取り組むことを記載している項目であることから、地方公共団体における取組の記載はあえて行わないことといたします。	C
53	戦略	P 1 3	戦略4の(2)戦略実現に向けた施策の方向性の3つめについて 例) 取組の大切さに気づき→取組を知り、実践できるようにします。	本戦略の実現で重要なことは、市民一人ひとりが、地球温暖化対策の必要性などについて、知るだけでなく、気づいて考えることで、自分事としてとらえることが大切であると考えております。	C
54	戦略	P 1 7	第4推進機能について、ICTの活用で「いつでも」「どこでも」行政サービスが受けられることになることを想定されています。利便性の向上に積極的に取り組む一方、心配なのは個人情報の漏洩です。この点について市の対策や考え方をしっかりと示したほうがいいのではないかと思います。	ICTの活用には、利便性の向上に合わせて、デジタル技術の活用に伴うセキュリティ対策が重要となります。 市では、現在、DX（デジタルトランスフォーメーション）推進方針を策定中であり、この中でセキュリティ対策の徹底を掲げ、職員のセキュリティに対する意識の醸成に努めることを予定しており、個人情報の漏えいなどが起こらないことを最優先に取り組んでまいります。	B

NO.	区分	ページ	寄せられたご意見	ご意見に対する市の考え方	取扱区分
55	その他	—	<p>スマートインター(S I)は、パーキングエリア(P A)内に設置され、E T C車で乗用車に限定したインターチェンジのことで。道内には輪厚P Aと砂川サービスエリアの2カ所に設置されています。江別の未来の発展のためのインフラとして、このS Iを野幌P Aに設置してはとの提案です。</p> <p>今後、全国的に人口減少が進むと予想されていますが、減少を緩和するためには、若い人達や将来性のある企業に選ばれる地域にならないといけないと言われております。江別市の魅力を高める施策の一つとしてS Iの設置を提案します。</p> <p>最近の明るい話題として、千歳市で、「ラピダス」の半導体製造工場の建設が始まる可能性があります。このため、今後この工場では多くの優秀な技術者が必要となってくるそうです。江別市には野幌P Aに近接して、全国にI T技術者を送り出している北海道情報大学があります。今後大学に対して、I T技術者として期待される学生の増員が求められてくると思います。また千歳周辺の地域に、ラピダス関連の企業の立地も期待されております。</p> <p>S Iの設置は、「江別市にはインターが3箇所有り、市民は10分でインターに行ける」を全国にP Rすることで、大学の学生や研究者、企業の技術者など、若者が江別に住むインセンティブを与えるひとつの重要なファクターになると思います。江別市の魅力がアップすることにより、学生や若い技術者を目当てに、I T関係の企業の誘致のチャンスも広がることも期待できます。</p> <p>しかし、S Iの設置には多くの課題があります。設置工事には多額の事業費が必要になりますし、事業用地の確保も必要になります。事業用地は札幌方面は、北海道情報大学と協議し、構内整備計画との整合性を図る中、また旭川方面は、江別市のあかげら公園の再整備を計画して、用地を生み出すことが可能だと思います。「インター」へのアクセス道路としては、白樺通りと南大通りの交差点を起点とし、高速道路を横断している西野幌橋を通る道路を設定します。西野幌橋からそれぞれの「インター」までは、道路の拡幅など交通機能アップの整備が必要になります。</p> <p>もし、スマートインターの設置が実現したら、私の夢が在ります。現在野幌P Aには、高速道路敷地外の人も出入り自由な形でセイコーマートが営業しています。この店の背中合わせにして、高速道路利用者も出入り自由にして、江別煉瓦を使ったシンボリックな建物を建設します。その中には、レストランがあり、札幌方面に帰る人をターゲットにして江別の強力粉で作った、パンやスパゲッティの料理や町村農場のスイーツやアイスが提供されます。また併設の売店では、菊水の乾麺やトンデンファームのハム、ソーセージ、江別の陶芸品やガラス製品を販売されます。冬以外には野菜直売場も設置され、江別のブロッコリーやトウモロコシなどの季節の新鮮な農産物も販売されます。</p> <p>私の夢の実現の前提となるスマートインターの設置を是非ご検討願います。</p>	<p>江別市には、五つのJ R駅をはじめ、幹線道路である国道12号や、道央と道北を結ぶ国道275号、千歳市と小樽市を結ぶ国道337号が通るほか、高速道路のインターチェンジが二つあるなど、道内各地への移動がとても便利な立地です。</p> <p>この強みを生かすことは、さらに魅力的なまちを目指すために必要なことと認識していることから、いただいたご意見を関係部署に伝えて共有し、今後のまちづくりを進めてまいります。</p>	B
56	その他	—	<p>計画策定の根拠である自治基本条例は、時代や社会経済情勢の下で手直しが必要になっているのではないかと。また、自治基本条例の所管と総合計画の策定推進の部署が異なる市の行政体制は市民として理解できない。計画の策定を期に統合した体制にすべきである。</p>	<p>自治基本条例の担当は、協働のまちづくりを実践する自治会や市民活動団体の担当部局とすることが、協働のまちづくりの推進に資するものと考えております。</p> <p>また、自治基本条例の見直しの必要性に関するご意見については、担当部署に伝え、情報共有を図ることといたします。</p>	E
57	その他	—	<p>持続可能な開発目標を意図した計画の推進は必要で理解するが、まちづくり政策、未来戦略も含めて、印刷不鮮明で内容が理解できない。素案から計画案にする段階で改善して、あらためて市民の理解を深める必要がある。</p>	<p>印刷が不鮮明となり、ご迷惑をおかけいたしました。製本時には、鮮明な印刷となるよう、努めてまいります。</p>	A